

意見等への回答

作成日：令和3年6月25日

作成者：上越市議会議長

寄せられた意見等

1 今冬の豪雪に関して今後の課題は

3月定例会では多くの議員が質問されましたが、結果論が多く感じました。議会や市当局でも課題の洗い出しをされ、総括されたと思いますが、今後の課題を広報上越等で示し、課題を共有すればよいと思いますが、議会の考えは如何でしょうか。

2 空き家問題に関して

今冬の豪雪でも空き家や空き店舗の対応で町内会のご苦労は大変でした。ようやくというかやっと相続登記に関する法案が可決されましたが、市独自に今後空き家（空き店舗）になりうる家屋を調査し、空き家になった際の管理者を明確にする作業が必要だと思いますが、議会の考えは如何でしょうか。また、今冬は空き家に対する除排雪を多くのボランティアが行いましたが、空き家に対する除排雪も管理者に請求する条例を整備しては如何でしょうか。

3 都市計画道路本町-大貫線について

かつて渡辺議員より定例会で、また自身キャッチボールトークで質問致しました。市長が実現不可能と言っている一方、同路線の期成同盟会の近藤議員は必要と言われています。計画を廃止し、三田-黒井線の早期開通等必要な路線に集約すればよいと思いますが、議会の考えは如何でしょうか。

4 高速バス維持について

新幹線開業以降、新潟直通の快速列車がなくなり、新潟市方面へ不便となりました。また、米山付近の風規制で度々運休となりまして、新潟線の高速バスは必要不可欠です。コロナ以前から新潟交通の都合、県内高速バスは減少の一途ですが、国庫補助路線等で高速バスの維持をしてもらいたいと思いますが、議会の考えは如何でしょうか。

5 最終処分場について

最終処分場がようやく絞り込まれましたが、また茶屋ヶ原地区が候補地に残りました。かつて断念した場所での再候補、インターからのアクセス等考慮しての事と思いますが、議会の考えは如何でしょうか。

回 答

この度はご意見をいただき、ありがとうございます。市の担当課に確認した内容と議会の考えについて、以下のとおり回答いたします。

- 1 市では、昨冬の対応を振り返り、次への対策の方向性を定めることを主眼として検証を進めており、結果は7月上旬に中間報告、10月下旬に最終報告としてまとめ、公表する予定としています。議会としても市の状況を注視し、必要に応じて提言等を行ってまいります。
- 2 市では空き家の適正管理について平成27年に条例を制定し、町内会長との連携や近隣住民からの通報等により、危険な空き家を把握するなど管理を進めていますが、ボランティアによる空き家の除排雪に係る費用負担までは想定していません。議会としても空き家対策は重要な課題と捉えており、今回いただいた貴重なご意見も含め、様々な視点で議論してまいります。
- 3 市では未整備区間について、妙高はねうまラインとの交差を高架形式で計画しておりますが、実現には沿線の土地利用に多大な影響を与えること、また、多額の事業費を要することなどの課題があります。このため、平面交差への計画変更に向け、鉄道事業者と協議を進めてきましたが、「周辺の踏切を閉鎖し、全体の安全性が向上することがない限り、変更は極めて難しい。」との回答を受けています。市としては、高田市街地を東西に縦貫する重要な道路であることから、引き続き協議を進め、事業実現に向けて検討を続けるとのことで、議会としては、市の検討状況を注視していくとともに、事業実現に向けた方策を議論してまいります。
- 4 市では都市間交通の維持・確保に向け、運行事業者に対し、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新潟県及び沿線市と協調して支援を行っています。議会としても、都市間交通の維持・確保は重要な課題であると考えており、予算審議等を通じて、市が行う支援を引き続き求めてまいります。
- 5 県において、土地利用の状況や道路の状況などの条件から上越市内の5か所を選定し、本年4月から候補地の町内会及び町内会長連絡協議会、地域協議会への説明会を始めたところです。議会といたしましても、市民の皆さまから理解を得た上で取組が進むよう、県の動向を注視してまいります。

議会といたしましては、今後の動向に注視しながら、必要に応じて市に要望してまいります。今後もご意見、ご要望などをお聞かせいただきたいと思います。と存じます。